

# 宮城県壮年テニス連盟

## 会 報

第 4 号

昭和62年12月24日 発行

### 対女子テニス連盟 宮城県支部 第1回定期対抗戦 開催

昨年、宮城県壮年テニス連盟および全日本女子テニス連盟宮城県支部では、それぞれの発足を記念して親善対抗戦を開催しましたが、強風にも拘らず楽しかった一日をご記憶の方も多きことでしょう。この対抗戦の参加者あるいは参加出来なかった人達から、来年もこういう対抗戦を行ないたいという多くの声が寄せられました。これを受けて、運営委員会は女子連の世話人の方々とも相談の結果、両連盟の発展を期待して、対抗戦を定期化し毎年開くことに決定しました。今回は定期戦としての最初の対決でもあり、昨年大敗した女子連はかなりの意気込みで臨んでくるとの情報も流れ、和やかな雰囲気ながらも緊張の裡に第1回定期戦は9月20日(日)青葉山公園庭球場で開かれました。

試合に先立ち、当連盟委員長の神吉寛一先生からは個人のお立場から、第1回定期戦を記念して優勝カップの御寄贈があり、今後は優勝チーム側が1年間づつお預かりすることになりました。対抗戦は別欄掲載の通り、41対13の大差で今年も壮年連盟の勝利に終わりましたが、この定期戦について、参加された女子連の選手役員の方々や、壮年で最も激戦を交えられた方達のご感想、抱負などを伺ってみました。

### 「壮年テニス連盟と

### 女子連対抗戦」について

女子連宮城県支部理事長 武田 孝子

木枯らし吹きすさぶ季節となりましたが、壮年テニス連盟の皆様は、それでもなお、テニスに汗を流していらっしゃるでしょうか。私達女子テニス連盟も二年を経過しようとしておりますが、同じ時に産声を上げたということで、とても親しみを持たせていただいております。

私達の二年間は、試行錯誤の連続、色々な行事をする度に失敗を経験し、新たな努力をせねばなりません。約四百人の会員には夫々の希望、趣向などもありまして、連盟の運営には色々苦心しておりますが、県テニス協会の御協力もいただきまして、多くの行事をこなし得た今、ホッとしているところです。

女子連の行事には、ビギナーの大会である桑名杯、中堅のトップを目指し全国大会のある朝日レディース、A、B、Cのクラス分けによる県レディーストーナメントの大きな三つの大会と、より楽しいテニスをする為にお互いにルールを勉強する審判講習会、会員相互の理解を深める年3回の親睦会、そして、もう一つ、どこの県にも類例のない特別のイベント、壮年

### 目 次

#### — 対女子テニス連盟 第一回定期戦 —

「壮年テニス連盟と女子連対抗戦」について	武田 孝子	1
楽しかった女子連との定期戦	伊藤 一利	2
「オツムで駄目ならアンヨでがんばろう」	庄子 穎子	3
壮年連盟との対抗戦に参加して	戸叶 千代子	3
— いわきバテックスとの親善試合 —		
いわきバテックスとの親善試合に参加して	岡崎 幸子	4
初めての親善他流試合始末記	室賀 創	5
— 今年の優勝者たち —		
テニス雑感	長谷川 信夫	6
壮年壮健	志間 弘治	6
本人も驚く初優勝	遠藤 一博	7
「ゴルフ」と「テニス」	金子 利幸	7
夕闇の決勝戦	河野 浩子	8
ミックスダブルスに初優勝して	渋谷 陽子	8
人との触れあいを大切にしよう	武田 満雄	9
夫婦で試合に参加して	大賀 延行	9
私のスポーツ雑感	石川 トヨ子	10
ソング「より楽しいテニスを」	高橋 龍夫	10
〈競技記録〉		12
テニス ルール ミニメモ		17
〈お知らせ〉		18

テニス連盟の皆様との対抗戦があるわけです。神吉先生が御寄贈下さったあの美しい色のカップと、上山先生、山内先生、高橋先生はじめ、多くの壮年連盟の方々の素晴らしい大会運営に支えられて行なわれており、私達女子連は本当に感謝しております。

昨年度の前哨戦は風の強い日でしたので、責任者として、敗戦は悪天候のためと思い込もうと努力し、本番の今年を迎えたのですが大敗でした。選手は公募し、朝日レディースの全国大会出場者には、義務付けるが如く出場していただいたのですが、とても歯がたちませんでした。技術の相違に他ならないことは大会参加者全員が実感したと思います。クレ-コートの長短を存分に知りつくし、若かりし頃色々な技術をマスターなさったであろうプレーを随所に見せていただき、感心するばかりでした。届くようで届かぬ素晴らしいロブで走らされた人、スライスボールに悩まされた人、ボレーの空中戦ではかなわぬと兜をぬいだ人、「本当に勉強になりました」と言う声が多かったのです。

女子連の会員の中にも、この二年間でこの対抗戦がいかに楽しく有意義であるか認識し、来年は積極的に参加してくれる人が増えそうな気がします。更に役員側としても、この大会が未永く楽しいイベントとして続きますよう作戦も考慮せねばと思って居ります。あの美しいカップは、優しい壮年連盟の男性の方々が、我々女子連に下さることを想定して用意して下さいに相違ないと思うのです。どうぞ来年以降を御期待下さいませ。私個人としましても、二度の大敗の責任をとり、どなたかに代わっていただき、心機一転、巻き返して欲しいと願っております。今後も宜しくお願い致します。

最後に、壮年テニス連盟の皆様、生涯テニスを楽しめる健康で潤い豊かな人生の指標をお示し下さるよう期待したいと思います。

## 楽しかった

### 女子連との定期戦

リッポウクラブ 伊藤 一利

編集委員から原稿のご依頼がありました。なぜ私のような新参者にお鉢が廻ってきたのだろうかと思案しましたが、ハタと思いがたることが一つだけありました。

それは、先般行なわれました女子連との定期戦で、

もっとも楽しんだのは私達であったとのご認定からであろうと思いついた次第です。何しろ、女子連の善戦も空しく、壮年連盟の大勝に終わった定期戦において、全54試合中、僅かに3試合しかなかったタイブレークの激戦は、すべて私達ペアの試合だったのです。散々脚を引っ張って、パートナーの多久さんには、今更ながら誠に申訳ないと大いに反省しております。

あの日は、早朝から心づくしの弁当作りに加え、いささか頼りないハンドル捌きで、はるばる青葉山のコートまで送ってくれた老妻の協力振りなど上の空で、ひたすら妙麗のご婦人方とゲームのできる喜びのみに溺れて参加した私でありましたから、勝敗をよそに心はウキウキ、球も浮き浮き、いやはや大変に楽しい定期戦でありました。どうも有難うございました。

それにしても昨今のご婦人方のテニスブーム、また、その熱心さがもたらす上達振りには目をみはるものがあるように思います。私の通っているクラブでも、恐らく、お子さんやご主人を送り出されるや否や駆けつけたと思われる彩り豊かな服装のご婦人方が、まことに真剣な眼差しで、一球をも疎そかにせず球を追う姿に、人間ドックで太鼓判を押された心臓だけが頼りの私はたゞ圧倒されてしまいます。しかし、さすがに午後4時ごろともなれば、「私も主婦ですから」と、俄かに、以前にもまして穏やかな満ち足りた表情で、あたふたと家路を急ぐ微笑ましさ、健康で明るいご家庭が偲ばれて素晴らしい限りです。

それにひきかえ、私などの場合は、すでにハイレベルの技術を持たれ、真摯にテニスに打ち込んでおられるプレーヤーの方々からは不謹慎のそしりを免れないと思いますが、これ以上の技術の進歩はあり得ないと、すでに悟り(?)を開き、テニスはひたすら健康のためと割り切る一方で(それでいて、心の底に、たまには勝ってみたいとする気持ちのあることを否定しませんが)、終わった後のビールが避けがたく、これまたすべて健康のためと欲張るようでは、到底勝利の美酒とは縁が遠いようです。

私の存じている女子連の役員さんも、来年こそはと雪辱を期しておられるようですし、事実、ご婦人方の切磋琢磨振りを見るにつけても、次回、私のような者の再登場は一層足手まといになることは必定

ですが、これからはビールも少し控えて、6-0とまではいかなくとも、タイブレークなどと危ない橋を楽しんで、我が軍に迷惑をかけぬよう努力しますので、ぜひ、もう一度あの楽しい定期戦のメンバーに加えていただきたいと、厚かましくもお願いする次第です。

それにしても、テニスの後のビールが不思議に美味しいのです。乾杯!!

## 壮年連盟との 対抗戦に参加して

女子テニス連盟 戸叶千代子

去る9月20日、さわやかな秋晴れの下で、第二回の対抗戦が行なわれ、今年も又、我が女子テニス連盟の大敗に終わり、あきらめ半分、悔しさも中くらいと言ったら、お叱りを受けるでしょうか。とにかく壮年連盟の方々は、皆さんお上手で、円熟した技には余裕があり、まねの出来ない年輪を感じます。

私は、昨年、今年と二度、鳴田先生にお相手願う機会があり、昨年は、惜しい負けを喫していたので、今年こそ、と闘志を燃やしておりましたが、ヘアの松山さん共々、すきのない攻めと、強弱、長短おり混ぜての旨味のあるショットで、散らされ、アツという間に終わってしまい、完敗でした。

他の試合でも、とても味のあるうまい攻めに泣かされ続け、山ほどミスをして、まだ、”短気は損気”と納得できずにいる自分がかかりです。でも、私は懲りてません。テニス大好き人間です。来年こそは、もっといい試合が出来るように、又、一年頑張るつもりです。この大会を通して、とても嬉しいこともありました。昨年のこの試合で名前を覚えて頂き、別の大会でお会いした時、お言葉をかけて頂き、”引っ込み思案で口下手”なつもり??の私は、感激してしまいました。多くの方と知り合えることは、素晴らしいことです。

壮年連盟の諸先生方、来年もどうぞよろしく願います。

## ”オツムでだめなら アンヨでがんばろう”

女子連副理事長(南インタースクワ) 庄子穎子  
”お願いします。” 天候、コート共に絶好のコンディションの中で始まった第1回壮年テニス連盟対女子連の定期対抗戦です。試合前のウォームアップの時、密かに思いました。サービスとスマッシュを除いては、それほど威力があるわけではなさそうだし、なんとかいけるかなというのがはじめの印象でした。ところが、無駄のない球の運び、特にバックハンドの扱いの上手なこと。みるみるうちに差が開いてしまいました。やはり、長年ラケットを握っていらっしゃる方々は、頭の中でコンピューターが働いて、球の処理がお上手です。でも、こちらも、ロブを使ったりして相手をゆさぶりだしてから、だんだんに試合ができるようになり、ようやく1勝することができました。

中高年の体力測定をすると、女性の方が高年齢になっても体力が衰えないという結果が出ています。たとえ週1~2回の運動であっても、30代後半からの体力はそれほど落ちないようです。これは日頃、家事(炊事、洗濯、掃除はもとより、庭掃き、草とり、買物等)に励み、身体をよくつかっているからではないかと確信しました。テニスコートでも、30代後半になると、男性はめっきり体力の衰えが感じられるのに比べて、本年度朝日レディーステニス予選大会出場者の平均年齢が38才という全国的な統計にも表われているように、女性は長持ちするのです。頭腦的?にはかなわなくとも、足腰を鍛えて、来年はもう少しよい成績が残せるよう努力したいものです。それには、増々ベテラン主婦といわれるよう、家事を大切にす一方、50代、60代になっても充分に楽しめるテニスができるよう、技術的な面でも個々のテクニックをしっかり身につけたいと思っています。試合に勝つことだけでなく、あの人のあのショットは素晴らしいと言われるものを増やしていきたいものです。そしてテニスは高齢になっても楽しめるスポーツであることを、身をもって後輩達に伝えていけたらと考えております。今後共、よろしく御指導のほど、お願い申し上げます。

## いわきベテランテニスクラブと親善試合

いわきベテランクラブの阿部会長はじめ役員の方々のお世話により、9月15日(敬老の日)小名浜カントリークラブ テニス コートにおいて親善試合が開かれました。宮城県壮年連盟からは自由に参加希望者を募り、前日から18名が小名浜入り、当日さらに3名が加わって親善対抗戦を行ないました。対戦成績は誰も記録を控える気にならなかった程の惨敗でしたが、初めての対外試合の模様を2人のリポーターに伝えてもらいます。

### いわき'ベテランテニスクラブ'との 親善試合に参加して

東北大学職員クラブ 岡崎 幸子

テニスを始めて一年過ぎた頃、壮年テニス連盟に入会させていただきました。それ以来、連盟からのお知らせを心待ちにしております。会報3号を手にして、いわき'ベテランテニスクラブ'との親善試合についての記事を見ました。まさに、見ただけで、これはAクラスの皆様のことだろうと私の心を通り抜けていました。その後、ミックスダブルス大会のお知らせと共に、詳しい案内が届きました。役員の方々は、毎回実に良く面倒を見てくださるし、素晴らしいグループに入れていただいて良かったと思いつつ、ゆっくりそれを読みました。読んでゆくうちに、対抗戦と共に親善の輪を広げようのご趣旨!「Cクラスの私にも参加できるかも知れない」と解釈いたしました。自分がテニスをするのも大好きですが、それにも増して、Aクラスの方々のゲームを見ることは大、大好きです。それに、on TVではなく、じかに観戦できると思えば急に勇気が沸き、参加を申し出ることになりました。私の心配もよそに、すぐOKをいただき、次は職場の上司に休暇願いを、そして良き理解を得ました。

遂に、14日(晴れ)、デラックスな車に乗せていただき、いわき市へと出発いたします。色づき始めた稲田の向こうに吾妻連峰、安達太良連峰を眺めながら総勢18人、5台に分乗してハイウェイを走ります。第1号車:上山先生のナイスリードにより、郡山開成でボリュームたっぷりの昼食'うどん天下'をいただき、ススキ、コスモスとサルビア、秋の花の咲き乱れる田園街道を海に向かって走ります。

3時前:小名浜カントリークラブ入場となりました。ゴルフ場は初めての私を、とてもリッチな気分にはたらせてくれます。そして前面に海を見るテニスコート3面、宿舍となるしゃれたクラブハウス!

敬老の日のプレゼント・・・こんなに素晴らしい企画をありがとうございます。思わず独りごとが出来ます。

いわきベテランクラブの方々の温かいお迎えをいただき、早速練習をいたします。コートは「オムニコート」;勿論私には new word です。人工芝の上に砂をまいて作られています。ローン コートの全天候型?

6時半:汗を流し、親睦の夕食会です。いただいたも、いただいたも減らない海の幸一杯の見事な「お造り」を間に、それぞれ談笑が続きます。もしかしたら、このまま一晩続くのではないかしらと思いました。ユーモアに満ちた小名浜近郊の観光ガイドをうけて、盛会の中に8時半閉会しました。

208号室にて歓談会!

私には緊張度100%のテーマが出されました。「明日は、対抗戦なのでしょうか、親善戦なのでしょうか?」

満ち溢れる話題にも10時半、おやすみを与えます。名プレイヤー達とこんなに親しくさせていただいてありがとうございます。テニスって本当に素敵!

Good night!

翌朝、遠出の疲れもなんのその、朝日を浴びながら、早朝ランニングをなさる方、また、小名浜港までドライブなさる方がおります。夕方ですわね。

高橋、山内両先生による早朝テニス レッスンを受け、朝食、そして恥ずかしくないテニスをしましょとパートの発表です。

9時:両軍ネットをはさんで、年齢も発表というユニークな自己紹介をいたします。本日、3人の参加もあり、私たちは21人になりました。ゲームはNo.1 同志から始まりました。実に見事な展開。また、競って、競って3ゲーム分余の熱戦をなさった方もおります。最大のイベントは新藤先生と菊田姉の〇〇〇オテニスです。どなたも、しっかり気合いの入ったボールを打ち、ラリーの続くこと続くこと、これが テニスなのね・・・ ウム、私もしっかり打って、拾わねばと自己反省しつつ、いつになく力が入り、豪勢なお弁当をきれいにすっきりいただいてしまいました。11パートの対抗戦の後、各自、自由にパートを組み、対戦相手も自由に求めて、こころ

ゆくまでゲームを楽しみました。

3時：名残り惜しいお別れです。

約束・・・「来年、ZAOでお待ちしております。またお会い致しましょう」握手した手の温かさに感激します。

汗を流して、忘れものがないように、爽やかに帰路になります。グリーンを抜け、秋色の峠を仙台へと走ります。

とても楽しい2日間でした。

企画、運営の諸先生方、一緒にさせていただきました皆様方、本当にありがとうございました。最後になりましたが、いわき市のベテランテニスクラブの皆様のご厚情に深く感謝申し上げます。ベテランテニス が益々盛んになりますように。

## 初めての

### 親善他流試合始末記

泉パークウテニスクラブ 室賀 創

菅生SAの集合場所には、定刻前から5台の車に分乗した会員が次々と到着し、朝のコーヒーで眠気をさまし、AM 9:40 高橋幹事による出発前の諸連絡、諸注意を受け、上山副委員長運転の1号車を先頭に、新たな土地への期待を胸に、いわき市に向けて出発した。車内では、珍しい話や車外の風景の説明が続き、90分の高速の旅もあっという間に楽しく終わり、郡山ICに着いた。早朝(?)の出発で、欠食会員も居られるとの幹事さんのご配慮で、一寸早めであるが、郡山市内に入って直ぐの、手打ちめん処「うどん天下」で昼食をとることとなった。注文は全員同時であったが、なぜか、Nさん注文の「三味うどん」(本日の最高値)だけが仲々そろわず、やがて現われた逸品は、既に食べ終えた人々の注目的になった。通路を塞がれた駐車場を脱出した後は、一路目的地へ。

PM 3:00 三々五々、緑の芝生に囲まれ、潮の香漂うテニスコートで、軽く身体ならしの練習を行ない、宿舍の風呂で汗を流した。

PM 6:00 いわきベテランテニスクラブ 阿部会長、村松幹事さん他の方々のお世話により、ロッジの1室で歓迎の懇親会が催された。獲れたての海の幸を着に、冷たいビールで喉を潤し、同好者同志ゆえに、初対面の硬さもなく話がはずみ、予定時間をオーバーし、思いを残しながら、明日の健闘を約し

て会を終わった。その余韻止み難く、部屋に戻ってから二次会が持たれ、作戦会議のはずが、何時の間にか軌道を外れることもしばしばあったが、和気あいあいのうちに、PM 10:00 高橋幹事の会打ち切り宣言でおひらきとなった。しかし、若さ溢れる方々は、午前様の三次、四次会を持ったとか・・・

15日 AM 5:00 太平洋の水平線上に昇る朝日をと、車でお出掛けの方、早朝練習に精進される方も居られたが、大方の人々は、昨夜のご活躍のためか、朝食前まで熟睡された模様である。

AM 9:00 前日の天気予報で、雨間違いなしとの气象台のご託宣にも拘らず、晴れ男、晴れ女の熱気のため、絶好のテニス日和となった。

先づ、両軍ネットを挟んで整列し、いわき阿部会長、宮城上山副委員長の挨拶、試合方法等についての説明があり、次いで、選手の自己紹介に移った。ユニークな年齢発表もあり、選手一同和やかな気分で試合に入った。戦前より宮城の先輩に、「いわきベテランテニスクラブは、長い歴史を持つ、伝統のあるハイレベルのクラブなので、胸を借り、教えて貰うつもりでやって来なさい」と聞かされて来たが、その言葉通り、試合を見ている限りでは、相当善戦したように思えても、結果は大差(詳しい戦績は書きそびれました)で、いわきベテランの大勝利に終わった。来年蔵王での試合には、接戦に近づけるべく、各人各人の一段の努力、精進が必要であることを痛感した次第である。

公式戦終了後、両クラブ員入り混じっての試合も数多く組まれ、心温まる楽しい一刻を過ごし、来年の善戦を誓って帰途についた。

終りに、この催しを快く応諾され、コートのお世話、試合中の飲み物、果物等、親身のお心遣いを戴いた阿部会長、松村幹事はじめ、いわきベテランの方々には、本当にお世話になり有難うございました。

また、初めての多人数の引率とお世話をされた当クラブの上山さん、高橋さん、役員の方々ご苦労様でした。

## 今年の優勝者たち

### — 技量別 ダブルス大会 —

#### テニス雑感

東北学院大学工学部テニスクラブ 長谷川 信 夫

テニスとの出会いは、戦後間もない頃で、私が小学校の五年の頃と記憶している。近くのテニスコートを利用して上級生や友人達と夜遅くまで遊んでいたことを思い出す。古い写真をながめてみると、当時物資不足に悩まされていたこともあり、ラケットは父のを借りて、ガットが切れると千枚通しなどを使って張る方法を知ったり、ボールも高級品であったので修理しつつ使っていたことをなつかしく思う。

その後はテニスをする機会がめっきり減った。硬式テニスは大学を卒業してから何となく始めたが、年数回程度のつき合いテニスの期間が長かった。テニスらしいテニスを始めたのは、大学のテニスサークルに参加した7～8年前からであろうか。その後、学内の自前のコートで昼休みや夕方に暇を見つけて楽しんでいる。このように、私はテニスを正式に習った経験はなく、全て自己流のテニスで、それもテニスで運動不足を解消するためにもっぱら走りまわる足ニスに徹している。

壮年テニス連盟に加入して早や2シーズンが過ぎたが、その間可能な限り大会に参加して多くのテニスファンと共に汗を流すことができた。今までの大会ではどちらかといえばスロースターターの我がペアは、いま一步のところで勝利の女神から見離されてしまうことが多かった。10月の技量別大会でAクラスに優勝請負人の山内宏先生と組んで出場した時ようやく優勝することができた。ところがこの大会にはAクラスはわずか4チームしか参加しないこともあり、優勝したとは言え心から喜べない面を残した。特に、山内先生に頼ることの多いゲームでしたので、私としては心残りの多い大会であった。しかし、大会中和気あいあいとした雰囲気があり楽しい一日を過ごせたとし、気持ちよくプレー出来たのに感謝している。

これから一層練習を重ねて、学院大ペアで勝利の美酒に酔いたいものと念じている今日このごろである。

## 壮年壮健

丸田沢テニスクラブ 志 間 弘 治

私とテニスとの出会いは10数年前にさかのぼる。当時すでに30才を過ぎており、テニスをやったこともなかったが、何かスポーツをやりたいと思っていた。ちょうど同じ町内にテニスをやっている山田利一さんがおられ、山田さんが町内会長を務めていたこともあり、会合などでお会いしたとき、当時の仙台ローンテニスクラブに入会をお願いした。それがテニスとの付き合いの始まりでした。

当時は、「短足の父ちゃん」がテニスをやるなんて似合わないと言われたが、そのうち諦めて何も言わなくなった。テニスをやって一番困ったことは、うちの子供達が「テ」と「ベ」を間違えて発音するのは閉口した。近所の人でも面白がって子供達をからかった。

テニスは上手な人が勝つとは限らない。スポーツは野球でも何でも同じことと思うが、弱気を出せば負けてしまう。練習の時に上手な人を見て、これは勝てないなと思うとやはり負けてしまう。勝負ごとはメンタルによることが非常に大きいと思う。技量別大会B級で優勝したが、まぐれで勝ったと思っている。自分ではうまいとは思っていない。応援団という精神的な支えがあったから勝てたのである。

応援団は私の所属する丸田沢テニスクラブの人々で、この応援団に勇気づけられ、元気づけられてようやく決勝トーナメントに進出できた。ついでに書かせていただくと、B級で丸田沢チームが優勝、準優勝、第三位を占めたが、このクラブには「テニスキチ」が多い。冬は除雪対策委員(?)が雪掃きをして、元旦から初打ちを行なうようなクラブである。自己流で決して上手とは言えないが(失礼)、試合となるとかなりのところまで行くから不思議である。口ニスもうまい。口八丁、手八丁で、しかも自己流派のクラブである。

私の夢は息子とダブルスを組んで試合をすること。夫婦や親子でテニスをしている方がおられますが、仲が良くうらやましい限りです。「足長のオバサン」とのペアは断念しましたので、せめて息子とペアを組んで一緒に楽しみたいと思っております。

最後に、原稿を依頼されましたがテニスをやるより書くことが難しく、初めて優勝カップの重さがわかりました。

## 本人も驚く初優勝

丸田沢クラブ 遠藤 一博

秋晴れの10月11日、青葉山テニスコートにて行なわれた技量別ダブルス大会に、丸田沢テニスクラブの大先輩、志間氏とBクラスに参加し、帰りには足を引きずり乍らも、優勝カップを持ち帰るという快挙には、我々信じられずの感激でありました。

日頃は丸田沢テニスクラブのサンデープレイヤー、もともと健康と余暇の利用目的だけで握ったラケット、今大会も参加するだけでも至上の喜びの私が、予選リーグで3勝1敗と善戦、辛うじて決勝トーナメントへ進出、それがなんと終わって見たら優勝とはまさしく無欲の勝利であります。

実力、経験、あらゆる面で数段勝る相手と戦い乍ら、最後まで勝ち残れたのは無欲、加えて怖いもの知らずの大胆なプレーが出来た結果で、珍プレーが好プレーに、守りのテニスから積極的なテニスへと好転してしまいました。それもこれもパートナー志間氏のリードの良さのお陰であります。「豚も何かで木に登る」の例えではありませんが、私は戦える豚と化し、ダブルス試合の妙味を味わせて頂きました。

この優勝のおかげで、他人から趣味は何かと聞かれれば最先にテニスを上げることにし、ゴルフを二番目の趣味にした記念すべき日であります。

最後に、大会の運営にあたっておられる役員の方々の御苦勞に心から感謝しお礼を申し上げます。

## 「ゴルフ」と「テニス」

中山テニスクラブ 金子 利幸

そもそも私とテニスとの関りというのはゴルフの上達のためでした。

実のところ私のゴルフ暦は20年になりますが、最近のスコアは低迷状態で、俗にいう“年寄ゴルフ”の部類に属したのではないかと感じられました。そこで何か現状を打破しスコアアップの対策はないかと模索し、練習場通いやランニング等をしましたけどどれも三日坊主でした。このような焦りの状態の時に、「プロゴルファーもシーズンオフにはテニスで足腰の強化をしている」とのこと、私も少しでもテニスで足腰の強化が出来るならばとの考えのもとに、3年前の11月、近くのテニスクールに入会しました。

初めの間は、一週間に一回、90分のスクールでの練習で、ラリーを続けるうちに心臓はドキドキ、足、腰、腕が痛くなり、とても足腰の強化どころではありませんでした。ゴルフで鍛えたつもりの身体はバラバラ、改めて身体の衰えを再認識させられました。が苦しみながらも何故か次回のテニスが待遠しくなり、次第にテニスの合間に仕事をしているような錯覚さえ覚え、総てテニス一色です。暫くこの様な状態で続けているうちに、身体も馴んでボールにも自分の意志が伝わり多少方向性が出てきました。この様になりますと私の本来の怒り性が頭をもたげ、「テニスが趣味」となり、土、日曜日はテニスとの付き合いが始まりました。

毎週土、日曜日は各4時間の練習。社員旅行やサークル活動はテニスを主体にし、山中湖、那須、宮城蔵王etc とテニス合宿を行ない、従来の名所旧跡の観光等は一切なくなる始末です。

さて、私がテニスを始めた動機である足腰の強化の成果はどうかと申しますと良好といえるのではないのでしょうか。今年、シーズンインと同時に気がついたことは、アイアンクラブの飛距離が伸び、方向性も良くなり、特にクラブの振りが鋭くなった感じがしました。勿論スコアは我が生涯の最良のものになりました。ところが不思議なことに、ゴルフに対する情熱が徐々に薄れ、最近ではゴルフとテニスの予定日がダブりますと、即座にテニスの練習があるからとゴルフを断わり、嬉々として下手なテニスを楽しんでいます。

壮年テニス連盟入会も、パートナー募集中の仲間に誘われ、そろそろ公式戦でもと思っている折でもあり申し込みました。

技量別大会では、パートナーのノーミスのお陰で幸運にもCクラスで優勝することができました。今後も機会がある毎に試合に出場したいと思っています。

## 夕闇の決勝戦

電力中山テニスクラブ 河野 浩子

今年も早いものであと1ヶ月残すだけとなり、振り返ってみるとテニスに明け暮れた1年でした。自己流で週1回テニスを楽しむ程度だった私が、2年位前に友達に誘われてレッスンに通うようになってから、段々その魅力にとりつかれてコートに立つ回数が増えていきました。やるからには上手になりたいし、試合にも出て勝ってみたいと思いますが、運動神経も体力もない私ですからなかなか思うよういきません。

こちらの壮年テニス連盟には、私達のコーチをしていただいている山本さんからお話があり、いろいろな職場やテニスクラブの人達と知り合える良いチャンスと思い、今年の8月に入会させていただきました。そして10月11日に技量別ダブルス大会があることを知り、Cクラスなら下手な私でもと思いミックスダブルスで申し込みました。パートナーの金子さんとは、フタバ中山テニスクラブで毎週日曜の午後、レッスンを受けている仲間で作っている「中山1・20KAI」のメンバー同士です。気心が知れていて気をつかわない分だけ試合に集中できたようです。当日は苦手な風もなく良い天気にも恵まれて、朝から夕方まで頑張りました。時々あせってネットやオーバーする悪い癖が出るのを金子さんに注意されながら、一つずつ楽しく試合をしていくうちにいよいよ決勝戦となりました。相手の方は男子ダブルスで私達はミックスダブルス、ちょっと不利かなと心配しつつ、薄暗くなってゆく中で懸命に目を凝らし、一球一球やっとの思いで返していきました。相手の方も同じように苦戦されたことと思いますが、ラッキーにも私達はこの夕闇の決勝に勝つことができました。大きなカップを手にして本当に感激しました。いつも面倒をみてくださる山本さんに良い報告をする事ができました。これからも人との出会いを大切に、試合に勝てるテニスをめざしてレベルアップに励みたいと思います。

## — ミックス ダブルス大会 —

### ミックスダブルス

#### に初優勝して

南インターテニスクラブ 渋谷 陽子

筆無精の私に原稿の依頼が舞い込んできて、1回目は何とか免れたが、今回はどうしても逃れられないこと（Bクラス ミックスダブルスに優勝）になってしまい、やっとの思いでペンをとりました。

私がテニスを始めてから、丸3年があったという間に過ぎてしまいました。今までに、こんなに年間を通して夢中になって遊べたのはテニスだけだったと思います。少々の雨なら平気でプレイしますし、雪が降れば除雪し、強風の中でも負けずにやってきました。同じ球技でも、卓球とかバレーボールは、ある限られた仲間や同年齢層の人達だけとしか練習出来ませんでした。テニスクラブに入ってから、色々な年齢層、職業の人達とプレイが出来、それぞれのお人柄に接することも楽しく、また、下手な私等を親切に指導していただき、お陰でここまで何とか上達？してきたと思います。

そのうち、壮年テニス連盟に入らないかと誘われ、右も左もわからないうちに色々な試合に参加してきました。参加してみて驚いたことは、60代後半～70代の人達が40代のベテランのプレイヤーに負けず劣らずの試合をしていることでした。巾広い年齢層の人達が一つのボールを追って広いコートで夢中で走り廻り、プレイ後は手作りのお弁当を広げ、“あの時はこうすれば良かったネ”とか、“素晴らしいプレイだったネ”等、和やかな雰囲気の中に話のタネは尽きません。

仕事柄、60代、70代という年齢層は、高血圧、糖尿病等に脅かされ、スポーツには全く縁のない人達と思っていた私は、元気でコートを走り廻っていることがどんなに素晴らしいことか、つくづく考えさせられてしまいました。今回、ミックスダブルスのお相手をしていただいた武田さんも元気そのもので、体の不調など聞いたことは一度もありません。私も大先輩に見習い、いつまでもテニスを愛し続けてゆきたいと思います。



## 人との触れあい

### を大切にしよう

南インターテニスクラブ 武田 満雄

今年度、三大イベントの年齢別(60才以上)ダブルス大会および第2回ミックスダブルス大会において、はからずも優勝することが出来ましたことは、皆々様方の御指導の賜と深く感謝しております。

両大会とも、それぞれ1試合は相手側から先にポイントを取られ、なかなか挽回するチャンスがなく、頭がボートしてカウントも記憶なく、1ポイント毎にパートナーに声をかけて尋ねる始末でしたが、何時の間にか勝つことができました。振り返ってみて思い当たることは、1ポイント毎にお互いに声を掛け合い、ミスした時は「ミス挽回」、また、1ポイント取得した時は「しまっていこう」、又は「これでいこう」などと、励ましの言葉を交したのが結果的に良かったのではないかと思います。

私は旧制中学校から軟式テニスを始め、就職してからは野球、卓球、バレー等の各部に首をつっこみ楽しんでおりましたが、趣味が多いせいとかどれも身につかず、終戦後復員して永い間スポーツをしないでいた折、自宅で椅子から立ち上がろうとした途端スリッパを踏みはずし、捻挫で一ヶ月の治療をしました。このようになったのは、スポーツをしなかったのが原因と悟り、どのスポーツを選ぼうかと迷っている時、先輩から郵政局の硬式テニスに誘われ、日曜日毎に練習をしておりましたが、そのうち病みつきになり、二年前から南インターテニスクラブに平日会員として入会させて戴き楽しく遊んでおります。硬式テニスを始めてから約十年になりますが、その間基本講習も受けずに過ごしていた時、たまたま壮年テニス連盟の月例会に出席した際初めて受講させて戴きました。今後とも会員の技術向上のため、講習会を継続して戴くよう切にお願い致します。

次に感じたことは、南インターテニスクラブに練習にいった時の事でしたが、初対面の高橋龍夫先生から練習しませんか、の一言を受けた時の有難さは忘れる事が出来ません。先輩を見習って、どなたでも仲良く、楽しく、愉快にしてこそ気も若く、健康が保てるものだと痛感いたしました。

最後に、幹事様並びにお世話役の方々に対して、今後も何かと大変でしょうが、壮年テニス連盟発展のため末永くよろしくお願ひ致します。

## 夫婦で試合に参加して

東北大学職員クラブ 大賀 延行

私は壮年テニス連盟に入会して、早一年半になります。

私はテニスを始めたのが33才を過ぎてからで、丁度その頃、テニスのうまい人がいて、フォームがきれいで、見ていて格好が良く、惚れ々々していました。その人に誘われて始めたのが切っ掛けでした。その頃のラケットは木製で、今のラージ・ラケットのようにハジキは良くなかったようでした。仲間も4、5人いたので、毎日練習に励んだものでした。そのうち、私を誘った人がやめてしまい、練習は自分達だけでするようになり、全くの自己流です。

そんな私が、初めてテニス大会で優勝したのは、1981年春の新体連のダブルスでした。その時の感動と嬉しさは、今でも心の中に焼きついています。この素晴らしい感動と喜びを、一度でも妻に味わせてやれたらと密かに思い、尻込みする妻を強引に誘い、ミックス・ダブルス大会に参加した次第です。ところが、それは私の独り合点で、当の本人にはかなり肩の荷が重かったようです。

思えば4?才にして、第一回仙台市硬式テニス教室が開催されたのを機に、初めてラケットを手にして、以後OB会を作って会員40人の大所帯で練習しているのですから、ボールを打つ回数はたかが知れています。それでも本人は、それで充分満足していたようです。壮年テニスに入会してからは、皆さんのプレーをみては、あまりのレベルの違いに戸惑いを感じてきたようで、時折日曜日には職場のコートで私なりに教えてはきました。しかし、試合(ルール)など全く知らなかったのです。Weekday交歓会の講習会に2、3度参加しただけで、今度の試合に出たのですから無理もなかったと思います。私自身もう少し時間をかけてから参加させるべきだったかと反省しております。

あれから数ヶ月が過ぎた現在は、妻にも仲間が増え、少しずつではあるが雰囲気にとけ、楽しさがわかってきたように思います。仲間に声をかけられるとゲームにも参加するようになったし、休みの日にはたま出しの依頼をするようになったし、エンジンがかかってきたようです。

目標・試合に参加したら1ポイントでも自分の力で取る

そして参加する毎にポイントの数を増やしたいということです。

皆さん、いろいろとお世話様でした。これからも  
よろしく願います。

#### 一年齢別 ダブルス大会

### 私のスポーツ雑感

宮城野原早朝テニスクラブ 石川 トヨ子

六月、M.V.T.F.に入会させていただき、初参加が  
青葉山コートでの年齢別大会、ラッキーにも私共、  
入賞ということで、先ずはパートナーの井沢さんに、  
この紙面をおかりして、改めて、「ありがとう」を  
申し述べさせていただきます。この大会は、私にとっ  
て喜びよりも、意外！で、また、不思議な出来事？  
として心に残りました。

三年前、テニスのプレー中、ネット際に落ちたボ  
ールを拾おうとしたはずみにヒザを傷めて捻挫と診断  
され、しばらく安静と通院につとめましたが、痛み  
が薄らぐにつれ、「こんなくらい……」と軽くみた  
のが思いもよらない結果となってしまいました。水  
はたまる、歩行困難にはなるで、かなりの重症との  
こと、あわて、すべてのスポーツを諦め、治療に専  
念しましたが、一年経ち、二年過ぎても思わしくなく、  
再びラケットを手にすることが出来ないのでは・・と  
半ば諦めたほど、自分の健康管理を深く反省したも  
のです。年齢的に体力の衰えと、ウェイトオーバーが気  
になりだし、自分なりにリハビリを兼ねたトレーニ  
ング(スイミング、軽いジョギング、自転車での筋力ア  
ップ)を考え、今回、なんとか試合の緊張感を味わえ  
るまで回復、ぶっつけ本番の大会となった次第……  
迷ブレで井沢さんを随分悩ませた一日でした。

私の趣味のスポーツは、どれも子育てを終えてか  
らのもので、広く浅いものですがいづれも切り捨て  
がたく、会社勤めと多忙な毎日ながらスポーツ抜き  
では一日が終わらないという程の中毒症になってし  
まったようです。早朝テニス(5月~11月)は週一  
度の私の貴重なテニスタイム、出勤前の一時間足ら  
ずのストロークのみですが、あのスコン! スコン!  
の快音を耳にしなが、この夏はテニスでの健康な  
朝を取り戻しました。早朝テニスもオフとなり、私  
のテニスも冬眠に入りますが、ヒザの完治は無理と  
しても、もう一冬リハビリに専念し、来春にはヒザ  
のサポーターをはずしてカッコ?よくコートに入り

たいものです。

初秋のある夜、音楽と共にラジオから流れていた  
アナウンサーの語りに私の耳が傾きました。スポー  
ツしている人の特徴として、

- 忙しくても苦にならない
- 自分で健康であると評価できる
- 他人との交際がうまい
- 食欲がある
- 風邪をひきにくい
- いつも楽しく過ごしている

などが挙げられていました。どれも共鳴することば  
かりです。これ等のことをモットーとして、今後も  
息の長い、そしてマイペースのスポーツ人生を歩み、  
”楽しむテニス”を、と考えております。例会に参  
加の都度、ベテランの方々のプレーを観戦し、心身  
技共その年輪の大きさに感動をおぼえると共に、わ  
がスポーツ人生も、かくありたいと思わずにはいら  
れません。

最後に、プライベートなことで大変恐縮ですが、  
私のスポーツに理解と協力を惜しまない家族に、い  
つも感謝していることを一こと書かせてください。

### シリーズ

#### 「より楽しいテニスを」

高橋 龍夫

#### No. 2 ”ポイントのやり直しは出来ません”

小春日和の暖かい陽差しの中で、AさんBさん組  
とCさんDさん組とのダブルスのゲームが行なわれ  
ています。暖かいと言っても10月の中ばを過ぎると、  
コートサイドのケヤキの影が長く尾を引いてベース  
ラインの付近まで届いています。2組の腕前が伯仲  
しているのでしょうか、ゲームの方も一進一退で、デュー  
スを何度も繰り返す好ゲームを展開しているよう  
です。ゲームカウントは4-4ですので、サービスを  
キープ出来るのと出来ないのではゲームの勝敗に  
大きく影響します。アドバンテージをとったAさんも  
慎重に第一サービスを打ちました。ボールはネット  
の上端を僅かにかすめた感じで入りました。レシバ  
のCさんはこの事実には気付かない様子でリターンし  
ましたが好返球にはならず、ネット際のBさんの頭  
上に簡単な小さなロブが上がってしまい、Bさんの  
スマッシュが決まり、このゲームをAB組がとった

かに見えました。この時、レシーバーのパートナーであるDさんが、

「今のサーブはネットインしたのだから、レットにすべきですよ。ネット際にいたBさんだって、今のサーブがネットインしたのに気付いたはずですよ」と言って、ポイントのやり直しを主張しました。Bさんは、

「サービスについての判定は、レシーバー自身がすることになっており、レシーバーのCさんが黙って返球したのだから、今のポイントは有効なんだからなァー？」と、半信半疑でいます。サーバーのAさんが、

「たかがテニスのごとで感情的になることもないし、相手が「レットにしてくれ」と言っているのだから、まあ、レットでもいいですよ」といって、もう一度Aさんのサービスからゲームを再開しました。

結局、このゲームはAさん達のものとなり、ゲームカウント5-4で、コートチェンジとなりました。CD組も真剣です。もう1ポイントも落とせません。白熱したポイントのやりとりがあり、ポイント・スコアが40-30の時、レシーバーのBさんの返球がネット際にいたDさんの頭上を越えて、ベースラインぎりぎりの所へ落ちました。背走しながらこのボールを追っていたCさんが、かろうじてこのボールを打ち返しました。その時、頭上を越されたDさんが、「アウト！」とコールしました。AさんとBさんからすかさずクレームが付きました。

「ボールが一番近い位置にいてボールを打ったCさんが「アウト」のコールをしないで、ボールから遠い位置にいたDさんが「アウト」「イン」の判定をするのは納得出来ませんね。それに、どうみても、今のボールはアウトではありませんよ。我々のポイントですよ」

Cさんも黙ってはいません。このポイントを取れば5-5のゲーム・デューズで試合はタイになりますし、失えばポイント・デューズとなり、試合に負けてしまう可能性が大きくなります。

「ボールを追うのが精一杯であったし、木の影がコートに入っているのははっきりと判定出来なかったのですが、パートナーのDさんがはっきり「アウト」とコールしたのだから、ポイントは私達のものです」

Aさんがまたもや迷案をだします。

「先程は貴方がたの意見を取り入れてポイントレツ

トにしたのだから、今回もポイントレツトにしましょうよ」

CさんとDさんも渋しぶAさんの意見を取り入れゲームを再開しました。結局、この試合はAB組の辛勝におわりました。CD組の大健闘で見てたえのある好ゲームを展開したかに思われたこの試合でしたが、プレーを終えた4人の胸のうちに、何かすっきりしないシコリのような物が残ったことも事実でした。

テニスの試合において、サービスの「フォールト」の判定、打球の「アウト」「イン」の判定、「ナット・レディ」「ダブル・ヒット」等の判定をめぐって、プレーヤー相互の意見や主張のくい違いのため、試合が一時的に中断したり、感情的になってしまうあまりに、せつかくの勝てる試合も負けてしまうケースがあるようです。

今回のように、両者の意見がくい違った場合には「レットにしましょう」という妥協案を気安く取り入れてゲームをしている光景にもよく出逢います。なかには、「今のボールは、「イン」か「アウト」かははっきりしないから、レットにしましょう」と平気？でおっしゃるプレーヤーもいらっしゃるようです。テニスの試合では、サービス・レット、ポイント・レットが許されるのは、極く限られたケースだけなのです。それも、判定が不明であるからレットにするのではなく、レットにする理由がはっきりしている場合にのみ許されるのです。AさんやCさん達の試合においても、「サービス・レット」の判定の仕方と打球の「アウト」「イン」の判定の仕方さえプレーヤー達がはっきりと認識してさえいれば、「レットにしましょう」等という迷解決案を出さないで、すっきりとした試合が出来たはずですよ。まして、ポイントの貸借り等とはとんでもない話です。「たかがテニスの試合ぐらいで……、レットにしてポイントのやり直しをしてもいいのではないか」とおっしゃるプレーヤーも見受けられますが、こういう方に限って、その「たかがテニス」のゲームの勝敗にこだわりすぎる傾向にあることも事実のようです。

勝って苦いビールを飲むより、負けても美味しいビールを飲みたいものです。ビールのお供に「コートの友」をどうぞ。

◇ 競技会記録 ◇

第2回 ミックスダブルス大会 8月23日 青葉山公園庭球場

A級 中止

B級 優勝 武田・渋谷組 2位 酒井夫妻 3位 近・中山組、井沢夫妻

C級 優勝 大賀夫妻 2位 高橋・河野組 3位 渡辺・菊田組、飯野夫妻

好天候に恵まれ、8月23日(日)青葉山公園庭球場に合計25ペアが参加し、熱戦が展開されました。各級それぞれ抽選により、予備リーグの組分けをおこない、その対戦結果により、予め定めた図式に従い、全ペアが決勝トーナメントのシードを決めるといふ、当連盟独得の方法で優勝が争われました。なお、A級については、申込者が極端に少なく、数の上ではB級申込の一部の方に、Aに移って戴くことも一法かと思われましたが、今年はA級の開催を取りやめ、明年以降にA級レベルの方が多数参加されることを期待することにしました。戦績は次の通りです。但し、B級決勝戦は日没のため、後日、11月8日 新しく完成した今泉コートで行われました。

< B 級 > ◆予備リーグ◆

(第1組)

	青・石	鈴・早	玉置	新・八	山・三	勝敗	順位
青木興一・石川トヨ子		6-2	6-2	6-1	4-6	3-1	1
鈴木 功・早坂幸子	2-6		5-6	5-6	2-6	0-4	5
玉置康雄・玉置雪枝	2-6	6-5		6-4	6-4	3-1	3
新藤英雄・八尾圭子	1-6	6-5	4-6		3-6	1-3	4
山本 忠・三野和子	6-4	6-2	4-6	6-3		3-1	2

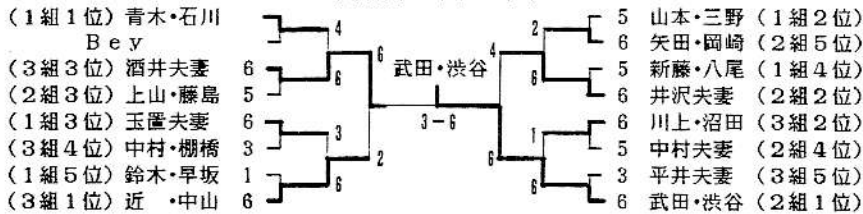
(第2組)

	矢・岡	上・藤	武・渋谷	井沢	中村	勝敗	順位
矢田慶治・岡崎幸子		2-6	3-6	3-6	2-6	0-4	5
上山 弘・藤島玲子	6-2		4-6	2-6	6-2	2-2	3
武田清雄・渋谷陽子	6-3	6-4		6-2	6-1	4-0	1
井沢秀雄・井沢三幸	6-3	6-2	2-6		6-1	3-1	2
中村孝史・中村経子	6-2	2-6	1-6	1-6		1-3	4

(第3組)

	近・中	平井	川・沼	酒井	中・棚	勝敗	順位
近 晴雄・中山八重子		6-2	6-1	6-5	6-4	4-0	1
平井正光・平井郁子	2-6		3-6	1-6	4-6	0-4	5
川上秀之・沼田正子	1-6	6-3		6-3	6-4	3-1	2
酒井秀章・酒井優子	5-6	6-1	3-6		6-2	2-2	3
中村克宏・棚橋敦子	4-6	6-4	4-6	2-6		1-3	4

◆決勝トーナメント◆



< C 級 > ◆予備リーグ◆

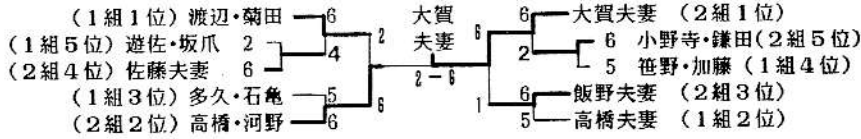
(第1組)

	多・石	笹・加	渡・菊	高橋	遊・坂	勝敗	順位
多久轟夫・石亀隆美		6-0	0-6	2-6	6-0	2-2	3
笹野正二・加藤悦子	0-6		5-6	2-6	6-4	1-3	4
渡辺三郎・菊田純子	6-0	6-5		6-1	6-0	4-0	1
高橋信次・高橋哲子	6-2	6-2	1-6		6-0	3-1	2
遊佐多津雄・坂爪ミヤ	0-6	4-6	0-6	0-6		0-4	5

(第2組)

	大賀	佐藤	飯野	高・河	小・鎌	勝敗	順位
大賀延行・大賀安子	△	6-2	6-2	6-1	6-3	4-0	1
佐藤幸紀・佐藤耀子	2-6	△	3-6	2-6	6-4	1-3	4
飯野 雅・飯野克子	2-6	6-3	△	1-6	6-4	2-2	3
高橋宏郎・河野浩子	1-6	6-2	6-1	△	6-0	3-1	2
小野寺晃・鎌田勢子	3-6	4-6	4-6	0-6	△	0-4	5

◆決勝トーナメント◆



昭和62年度 技量別ダブルス大会 10月11日 青葉山公園庭球場

A級 長谷川信夫(学院大工職)・山内 宏(東北大職)組

B級 志間弘治・遠藤一博組(丸田沢クラブ)

C級 金子利幸(富士産業)・河野浩子(電力中山クラブ)組 優勝

今年度の技量別ダブルス大会は、10月11日 青葉山公園コートで、今年初めて6面が使用できるという、当コートとしては珍しい好コンディションに恵まれ、合計28ペアが参加して熱戦が展開されました。A級は参加者が少ないため、2セットずつの総当たりリーグ戦によるセット勝率で優勝が争われました。B、C級は先ず予備リーグを行い、その上位者は、全員参加の決勝トーナメントにおいて、一、二回戦を不戦勝とするスーパーシード制を採用して優勝が争われました。各級とも大熱戦の末、今年度から新しく用意された優勝杯は、上記の各組に授与されました。

< A 級 >

◆決勝リーグ◆ (6ゲーム先取 2セット試合)

	鈴・大	岩・大	青・高	長・山	勝敗	順位
鈴木 功(東北大職ク)	△	6-0	6-1	3-6		
大賀延行 //		6-5	6-5	5-6	4-2	2
岩月尚文(良友会)	0-6	△	1-6	3-6		
大村武平(青葉台ク)	5-6		1-6	1-6	0-6	4
青木興一(MMTC)	1-6	6-1	△	3-6		
高橋昌明(東北大職ク)	5-6	6-1		6-4	3-3	3
長谷川信夫(学院大工職ク)	6-3	6-3	6-3	△		
山内 宏(東北大職ク)	6-5	6-1	4-6		5-1	1

< B 級 >

◆予備リーグ◆

(第1組)

	川・五	新・金	渡・笹	平井	阿・鈴	勝敗	順位
川上秀之・五島健雄(丸田沢ク)	△	6-1	6-0	6-0	6-1	4-0	1
新藤英雄(南インター)・金野威(カメイ)	1-6	△	6-0	6-4	3-6	2-2	3
渡辺三郎(郵政ク)・笹野正二	0-6	0-6	△	6-2	0-6	1-3	4
平井正光・平井郁子(東北大職ク)	0-6	4-6	2-6	△	0-6	0-4	5
阿部彦人・鈴木啓之(郵政ク)	1-6	6-3	6-0	6-0	△	3-1	2

(第2組)

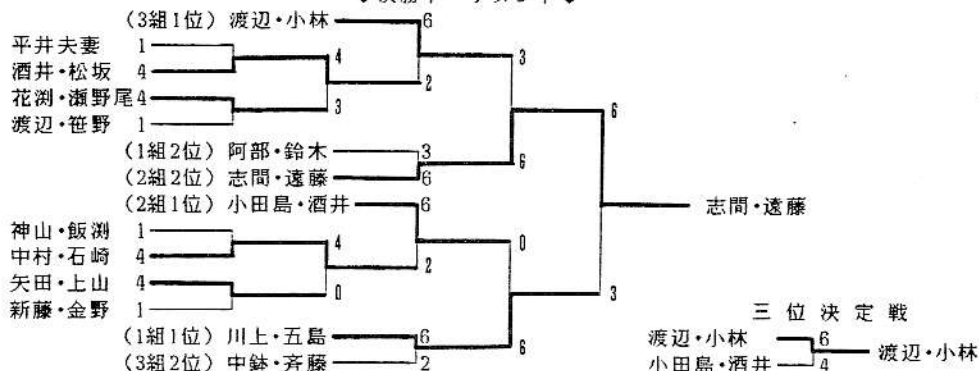
	小・酒	花・瀬	神・飯	志・遠	中・石	勝敗	順位
小田島政勝・酒井秀章(南インター)	△	6-1	6-0	4-6	6-5	3-1	1
花渕武雄(ワシントン)・瀬野尾秩(電気協会)	1-6	△	6-4	3-6	5-6	1-3	4
神山智明(東北大)・飯渕武(日本舗道)	0-6	4-6	△	3-6	1-6	0-4	5
志間弘治・遠藤一博(丸田沢ク)	6-4	6-3	6-3	△	5-6	3-1	2
中村克宏・石崎 允(泉パークク)	5-6	6-5	6-1	6-5	△	3-1	3

(同勝率の順位はゲーム勝率による)

(第3組)

	中・齊	矢・上	酒・松	渡・小	勝 敗	順位
中鉢不二男・齊藤 正 (青葉台ク)	—	8-3	8-6	2-8	2-1	2
矢田麗治・上山 弘 (東北大職ク)	3-8	—	8-1	4-8	1-2	3
酒井俊子・松坂真砂子 (南インター)	6-8	1-8	—	5-8	0-3	4
渡辺博茂・小林卓也 (丸田沢ク)	8-2	8-4	8-5	—	3-0	1

◆決勝トーナメント◆



< C 級 >

◆予備リーグ◆

(第1組)

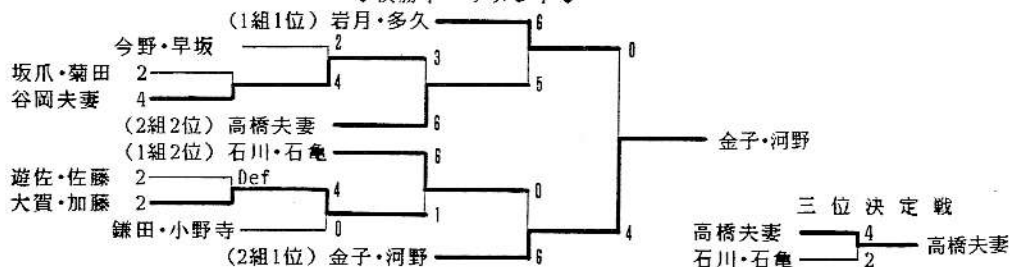
	坂・菊	石・石	遊・佐	岩・多	鎌・小	勝 敗	順位
坂爪ミヤ(泉レテ)・菊田絢子(フェリ)	—	2-6	6-2	1-6	4-6	1-3	4
石川トヨ子(MMTC)・石亀睦美	6-2	—	6-5	1-6	6-4	3-1	2
遊佐多津雄・佐藤幸紀(東北大職ク)	2-6	5-6	—	1-6	4-6	0-4	5
岩月賢一(長友会)・多久堯夫(東北ファミ)	6-1	6-1	6-1	—	6-0	4-0	1
鎌田勢子(青葉台)・小野寺晃	6-4	4-6	6-4	0-6	—	2-2	3

(第2組)

	金・河	大・加	谷 岡	高 橋	今・早	勝 敗	順位
金子利幸(富士産)・河野浩子(電中山)	—	6-0	6-3	6-2	6-0	4-0	1
大賀安子・加藤悦子	0-6	—	6-3	2-6	2-6	1-3	5
谷岡勝弘・谷岡 栄(泉パーク)	3-6	3-6	—	5-6	6-1	1-3	3
高橋信次・高橋哲子(東北大非水研)	2-6	6-2	6-5	—	6-5	3-1	2
今野ミチ・早坂幸子(東北大工)	0-6	6-2	1-6	5-6	—	1-3	4

(同勝率の順位はゲーム勝率による)

◆決勝トーナメント◆



第2回 Weekday交歓会、講習会

10月1日(木) 青葉山公園庭球場において、午前は山内宏氏による講習会、午後はダブルスゲームを楽しむ。参加者 30名。

第3回 Weekday交歓会

10月21日(水) 伊藤一利氏のお世話により麒麟ビール仙台工場コートにおいてゲームを楽しんだ後、工場を見学し歓待を受ける。参加者 15名。

第2回月例会

7月19日 青葉山公園庭球場

前日の雨のため、コートの一部不良、3面を使用して、朝から午後1時半頃まで、4組に分かれてリーグ戦を行い、その後は夕方まで、自由にペアを組替え フリー タイム を楽しんだ。

▼ 1組

	高・青	大・鈴	上・高	近・高	渡・山	勝 敗
高橋良昌・青木興一		4-6	6-2	2-6	6-4	2-2
大賀延行・鈴木 功	6-4		6-3	2-6	6-4	3-1
上山 弘・高橋昌明	2-6	3-6		5-6	6-2	1-3
近 晴雄・高橋龍夫	6-2	6-2	6-5		---	3-0
渡辺民朗・山内 宏	4-6	4-6	2-6	---		0-3

▼ 2組

	山・三	酒・小	花・瀬	玉・山	山・中	勝 敗
山本 忠・三野和子		3-6	6-2	6-2	6-1	3-1
酒井秀章・小田島政勝	6-3		6-1	6-2	6-0	4-0
花洲武雄・瀬野尾 稔	2-6	2-6		0-6	6-2	1-3
玉置康雄・山本幸一	2-6	2-6	6-0		6-0	2-2
山田利一・中鉢不二夫	1-6	0-6	2-6	0-6		0-4

▼ 3組

	洪・武	神・飯	新・八	石・石	松・酒	勝 敗
渋谷陽子・武田満雄		6-5	6-2	6-1	6-2	4-0
神山智明・飯淵 武	5-6		2-6	2-6	6-4	1-3
新藤英雄・八尾圭子	2-6	6-2		6-0	6-0	3-1
石崎 允・石崎裕美子	1-6	6-2	0-6		6-3	2-2
松坂真砂子・酒井優子	2-6	4-6	0-6	3-6		0-4

▼ 4組

	神・飯	平・平	村・村	高・高	石・菊	大・大	加・大	勝 敗
神山智明・飯淵 武		6-2			6-1			2-0
平井正光・平井郁子	2-6			5-6	6-2	6-5		2-2
村上和夫・村上きい子				3-6	6-3	3-6		1-2
高橋信次・高橋哲子		6-5	6-3			1-6	6-3	3-1
石亀聡美・菊田絢子	1-6	2-6	3-6				6-2	1-3
大高 弘・大高幸子		5-6	6-3	6-1			6-2	3-1
加藤悦子・大賀安子				3-6	2-6	2-6		0-3

→途中  
から  
3組  
へ

昭和62年度国民体育大会 宮城県予選

7月11, 12, 13日 県宮宮城野原庭球場

成年男子2部シングルス

高橋龍夫(萩庭会)	8				8	広田 元(南イター)	
安田 勇(良友会)	3	8			2	伊藤耿一(仙南ク)	
大賀延行(仙南ク)	6	1	8	0	3	清 国彦(泉ハク)	
青木興一(MMTC)	8		高橋		def	菊地昭男(松島ク)	
長田輝夫(KTC)	3		8-2		4	栗山義明(青葉台)	
本田 徹(TTC)	8	3	5	8	4	村田正道(北ソウ)	
庄子 弘(職員ク)	0	8			8	5	佐藤 勇(栗原協)
川緑 衛(キョウSC)	8				8	8	山内 宏(職員ク)

成年男子2部ダブルス

高橋龍夫・川緑 衛 (萩庭会・キョウSC)	8				8	山内 宏・広田 元 (職員ク・南イター)
庄子 弘・山本 忠 (職員ク・東北ファミ)	2	8			def	前田章二・成清俊彦 (キョウSC)
本田徹・小野寺紘一 (TTC)	8		8-2		8	安田 勇・清 国彦 (良友会・泉ハク)
長田輝夫・渡辺貞夫 (KTC)	2	2		6	1	伊藤耿一・大賀延行 (仙南ク)

対女子テニス連盟 宮城県支部

第1回 定期対抗戦

9月20日 青葉山公園庭球場

両軍18ペアずつの選手を、技量順に各々3ペアずつ6個のブロックに分け、ブロック内で相手の3ペアに総当たり対抗という形で、合計54試合が行われました。結果は、意外にも41対13の大差で壮年連の勝利に終わり、優勝カップは最初の1年間を壮年連盟が握ることになりました。

A ブロック

壮年 女子	渡辺 長田	川口 高橋	清 安田	女子連 勝点
富田・後藤	7-5	6-7	6-7	1
織田・渡辺	0-6	3-6	2-6	0
加賀・荒木	1-6	2-6	4-6	0
壮年勝点	2	3	3	8-1

B ブロック

壮年 女子	鈴木 大賀	小野寺 三塚	高橋 青木	女子連 勝点
佐藤・庄子	1-6	4-6	6-3	1
志賀・八巻	0-6	1-6	4-6	0
山田・松浦	3-6	0-6	6-3	1
壮年勝点	3	3	1	7-2

C ブロック

壮年 女子	嶋田 松山	中村 上山	川上 志間	女子連 勝点
戸叶・武田	1-6	6-2	6-4	2
菊地・古川	3-6	6-2	3-6	1
菅野・八島	0-6	2-6	2-6	0
壮年勝点	3	1	2	6-3

D ブロック

壮年 女子	高橋 飯野	新藤 武田	平井 小松	女子連 勝点
玉置・本間	6-2	3-6	5-7	1
市川・河野	3-6	5-7	1-6	0
半田・高橋	6-3	6-2	5-7	2
壮年勝点	1	2	3	6-3

E ブロック

壮年 女子	千葉 中鉢	花洲 瀬野尾	工藤 久保	女子連 勝点
酒井・井沢	2-6	4-6	0-6	0
中條・安田	6-3	4-6	0-6	1
平山・中村	1-6	1-6	0-6	0
壮年勝点	2	3	3	8-1

F ブロック

壮年 女子	伊藤 多久	岩月 室賀	遠藤 渡辺	女子連 勝点
川名・北野	7-6	4-6	2-6	1
首藤・野口	7-6	2-6	6-2	2
宇都宮長野	6-7	0-6	3-6	0
壮年勝点	1	3	2	6-3

第3回 月例会

9月6日(日) 青葉山公園庭球場

早朝降雨のため集まりが悪かったが、不揃いのペアも随意ペアを組み替えてダブルスゲームを楽しむ。朝からの参加者31名、午後9名加わる。(記録には誤記、脱漏があるかもしれません)

岩月 花洲	6-3	新藤 Ms坂爪
佐藤夫妻	6-2	笹野 Ms岡崎
小田島夫妻	6-0	伊藤 Ms斉藤
近 Ms八尾	6-2	上山 Ms酒井
鈴木 大賀	6-2	中村 佐々木
笹野 Ms岡崎	6-1	遊佐夫妻
Ms菊田 Ms坂爪	6-2	伊藤 Ms斉藤
平井夫妻	6-2	小野寺 Ms鎌田
小田島夫妻	6-0	岩月 花洲
近 Ms八尾	6-2	佐藤夫妻
新藤 Ms菊田	6-0	遊佐夫妻
上山 Ms酒井	6-2	平井夫妻
中村 佐々木	6-0	菊地 神山
鈴木 大賀	6-2	近 Ms八尾
伊藤 Ms小田島	6-4	小野寺 Ms鎌田
岩月 花洲	6-2	笹野 Ms岡崎
Ms菊田 Ms平井	6-1	Ms清水 Ms中山
Ms坂爪 Ms佐藤	6-0	遊佐夫妻
高橋昌 平井	6-0	菊地 神山
小田島 上山	6-1	佐藤 新藤
大賀 Ms八尾	6-2	中村 多久
Ms酒井 Ms斉藤	6-4	Ms菊田 Ms平井
Ms酒井 小田島	6-4	Ms八尾 Ms佐藤
Ms酒井 Ms斉藤	6-1	Ms大賀 Ms清水
平井 山内	6-5	高橋龍 近
上山 佐々木	6-4	佐藤 大賀
岩月 Ms岡崎	6-5	花洲 笹野
高橋龍 近	6-0	平井 高橋昌
嶋田夫妻	6-1	今野夫妻
Ms小田島 八尾	6-5	Ms坂爪 佐藤
伊藤 新藤	6-2	菊地 神山
花洲 Ms岡崎	6-5	笹野 Ms嶋田
小野寺 Ms鎌田	6-1	遊佐 今野
Ms平井 Ms坂爪	6-1	Ms遊佐 Ms今野
多久 Ms中山	6-4	小野寺 Ms鎌田
嶋田 中村	6-4	大賀 佐々木
菊地 神山	6-2	多久 小野寺
中村 Ms嶋田	6-4	高橋昌 Ms小田島

第4回 月例会

11月8日(日) 今泉庭球場

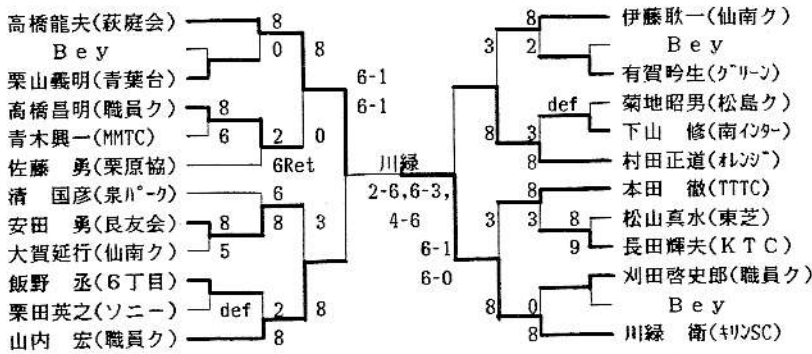
新設の市営今泉コートにお目にかかるべく、今年最後の月例会には朝から40名が参加、午前午後それぞれ抽選でペアを組みゲームを楽しみました。最後の行事のためか、今年初めてお顔をお見せになった方も何人かおられ、強風に悩まされながらも楽しい一日でした。



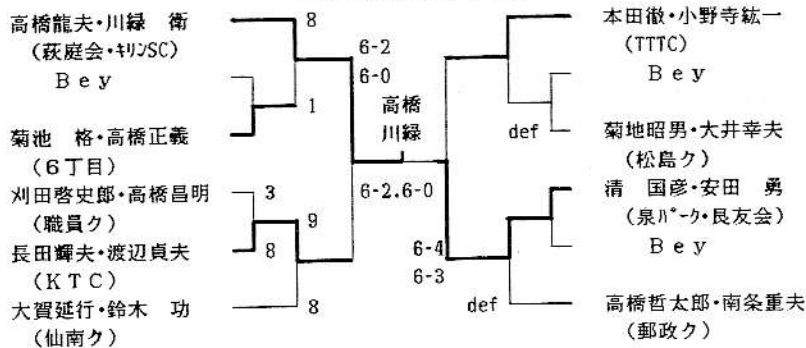
昭和62年度 宮城県テニス選手権大会

10月3, 4, 5日 県営宮城野原庭球場

45才以上男子シングルス



45才以上男子ダブルス



55才以上男子シングルス

庄子 弘(職員ク) 8-5 平井正光(職員ク)

55才以上男子ダブルス

上山 弘・川上秀之 8-4 新藤英雄・武田満雄 (南イター) (南イター)

40才以上女子シングルス

斉藤久仁子(キョウSC) 8-1 八尾圭子(キョウSC)

40才以上女子ダブルス

八尾圭子・川緑美智子(キョウSC) - 他に出場者なし

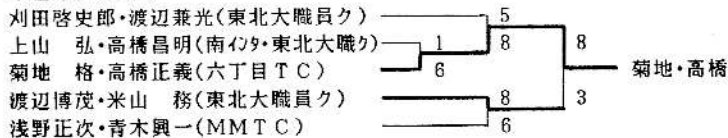
第40回 宮城県民体育大会 テニス競技

(壮年の部) 8月2日 県営宮城野原庭球場

◆壮年シングルス

	渡 辺	浅 野	飯 野	勝 敗	順位
渡辺兼光(職員ク)	-	6-2	6-3	2-0	1
浅野正次(MMTC)	2-6	-	0-6	0-2	3
飯野 丞(六丁目TC)	3-6	6-0	-	1-1	2

◆壮年ダブルス



テニスルール ミニ・メモ 1

(山内 宏 監修)

サービス、レシーブの順序、

コートチェンジを間違えた時

原則は、「いかなる間違いも発見次第直ちに正しい順序に改める。間違った状態で既に経過したポイント、フォールトは全て有効として数える」ということです。ただし、次の例外があります。

1. サービスの順序

誤りが発見される前にゲームが終わった場合は、次のゲーム以降サービスは入れ替わったままで行なう。

2. レシーブの順序

レシーバー側がゲームの途中でサービスを受ける順序を変えた場合は、そのゲームが終わるまで変わったままの順序で続ける。しかし、その組がそのセットで次のレシーバーになった時は本来の順序に戻らなくてはならない。

以上の2つの例外を除いて、サーブ、レシーブ、コートチェンジの誤りは、原則に従い直ちに本来の順序に改めると共に、それまでに済んでしまったプレーは全て有効ということになります。

## ◇ お知らせ ◇

### 会員異動

◇会報3号発行後、次の方々が加盟されました。また、前回ご紹介した新会員の中に、事務の不振から住所の誤記がありました。お詫びして訂正させていただきます。

氏名	勤務先	所属クラブ
甘 糟 元	甘糟医院	
大 石 幸 子		
大 村 武 平	仙台鉄道病院	
開 発 みよ子		電力中山TC
加 藤 哲 也	日本製粉	
金 子 利 幸	富士産業	中山テニスC
河 野 浩 子		電力中山TC
小田島 政 勝	NTT山形	南インターTC
小田島 美代子		南インターTC
小 林 とよ子		
斉 藤 正	東北通信社	青葉台TC
佐 藤 幸 紀	東北大科研	東北大職員ク
佐 藤 耀 子		
沼 田 正 子	東北大医図書	丸田沢TC
三田村 由 子		電力中山TC
矢 野 南巳男	山形病院	
遊 佐 多津雄		
遊 佐 郁 子		
渡 辺 康 晴	東芝電池	電力中山TC
渡 辺 都弥子		電力中山TC

◆次の方々は退会されました。

市川文子(転勤)、小林富美子(都合)

### 第3回委員総会開催

第3回(昭和62年度後期)委員総会は12月5日(土)午後3時半から東北大学科学計測研究所中会議室で開催されました。会議の概要をご報告します。

◆出席者 神吉委員長

(クラブ等グループの代表委員)

飯野雅(萩庭会) 井沢三幸(アップル)  
伊藤一利(キリンSC) 岡崎幸子(東北大農)  
長田輝夫(東北大工) 菅野志津子(泉ハーフTC)  
北野妙子(泉ハーフTC) 酒井秀章(南インターTC)  
渋谷陽子(南インターTC) 清水英子(家庭婦人)  
安田勇(良友会) 志間弘治(丸田沢ク渡辺代理)

委任状:石亀希男(東北大科研)

(運営委員)青木興一、上山弘、新藤英雄、

中村克宏、山本忠 委任状:川口温弘

(幹事)高橋龍夫、山内宏

◆今年はグループ委員の何人かが運営委員になり、または転任のため退会したので補充増員の必要があり、本来のグループ委員選出の手續に沿わないが、止むを得ず委員長が何人かの会員にグループ委員をお願いした経緯の説明があり、これを了承した。次いで、議長から新しくグループ代表委員になった伊藤一利(キリンSC)、岡崎幸子(東北大農)、河野浩子(電力中山TC)、酒井秀章(南インターTC)、佐藤友美(川鉄建材)、清水英子(家庭)、谷岡勝弘(泉ハーフTC)の諸氏が紹介された。

◆運営委員から、前総会以降の新入会員39名および退会11名の紹介があり、現在の会員数は225名(内女性72名)であるとの報告があった。

◆運営委員から資料により、62年度の経理の現状および今年度末に於ける決算見通し等について説明報告があった。

◆運営委員から、4月以降の各種競技会活動について総括報告があった。

◆競技会のやり方について

今年の競技会を顧みながら意見交換を行なった。主な意見は、  
○今年実施された競技会については特に大きな不満はないが、技量別大会は時間の配分、男女別など考慮の余地があるのではないか  
○娯楽性にウェイトを置いた競技会や、Weekday交流会、講習会、および冬期の室内例会等の希望が多い  
○対女子連定期戦は双方の興味が今後益々盛り上がるよう配慮する必要がある  
等であった。

◆剰余金の取り扱いおよびその用途について

一般会計および競技会参加費の剰余金が今年度末で約14万円になる見込みであるので、その取り扱い、用途について協議した。特に強い意見はなかったが、主な発言は、  
○現在の競技会参加費の額はおおむね妥当であり、少額の値下げはしなくてもよい  
○コート借料のかさむ冬期の室内競技会等も開いてはどうか  
○急いで使い道を決める必要はなく、ここ数年間の財政の推移を見て考えればよい  
等で、次期運営委員会で十分に検討する。

◆いわきベテランクラブとの親善試合について

今年の親善試合について、参加者ほかから大要次のような感想、意見が述べられた。  
○大敗したが大変楽しいイベントであり、会員の親睦のためにも非常に有意義であった  
○63年はいわき側の来仙を歓迎するが、再来年以降については、次期の運営委員会で検討してもらおう  
○いわき以外の県や市との親善試合も出来ないか  
○第2,3の土、日曜が都合がよい、女性は日帰りが参加し易い  
等の発言があった。

◆63年度運営委員の選出について

協議の結果、新たに 矢田慶治、伊藤一利、井沢三幸、菅野志津子 の4氏と、今年の運営委員の中から引続いて、神吉寛一、上山弘、川口温弘、久保寿一、新藤英雄、中村克宏 の6氏を、あわせて10名の運営委員を選出した。

## その他

◆クラブ、職場等グループ代表委員 名簿

昭和63年度のグループ代表の委員は次の方々です。代表委員は各グループの会員の要望を連盟の運営に反映させるため、年に2回ほど運営委員と合同の委員総会を開き、年間の競技会スケジュール、予算、運営委員の選出など、連盟運営の基幹事項を協議する役割を担っております。代表委員はグループからのお申し出により、随時どなたでもなることができます。未だ代表を決めていないグループは、代表を指名し委員長宛てにご通知ください。

全会員の要望を大きく包み、相互に友好をはかり、テニスの技を磨いて競技を楽しみましょう、ということが壮年連盟結成の目的でした。みんなで力を合わせ楽しい連盟に育てましょう。

グループ名	氏名
アップルTC	井 沢 秀 雄
青葉台TC	中 鉢 不二男
泉パークタウンTC	北 野 妙 子 久 保 寿 一 谷 岡 勝 弘
家庭婦人	清 水 英 子
川鉄建材	佐 藤 友 美
良友会	安 田 勇
萩庭会	飯 野 雅
東北工大職ク	田 代 侃
東北大科研	石 亀 希 男
東北大工学部	長 田 輝 夫
東北大農学部	岡 崎 幸 子
東北電力TC	田 中 稔
東北電力中山TC	河 野 浩 子
東北ファミリーTC	山 本 忠
古川硬式TC	森 谷 勇 一 郎
丸田沢TC	渡 辺 博 茂
南インターTC	酒 井 秀 章 洪 谷 陽 子 玉 置 康 雄
郵政クラブ	高 橋 哲 太 郎

#### ◆昭和63年度 運営委員

別掲の通り、12月5日に開かれた第3回委員総会に於いて、昭和63年度運営委員として次の方々が選出されました

井 沢 三 幸	アップルTC
伊 藤 一 利	サリンスポーツC
神 吉 寛 一	東北大戦ク
上 山 弘	南インターTC
川 口 温 弘	六丁ノ目TC
菅 野 志津子	泉パークタウンTC
新 藤 英 雄	南インターTC
中 村 克 宏	泉パークタウンTC
矢 田 慶 治	東北大戦ク

(付記) 久保寿一氏はその後ご都合が悪いとのお申し出があり、現委員長がこのお申し出を受理されました。

また、連盟創設の準備段階から2年間にわたりご尽力された 青木興一、藤崎春雄、山本 忠 の3氏は、それぞれのご都合により62年度限りで辞任されることになりました。連盟創設期に果たされた大きな功績に対し、この紙面をお借りして感謝いたします。

#### ◇ 速 報 ◇

##### 新年の予定

詳しいことは未定ですが、

1月24日(日)

2月21日(日)

の両日、キリン スポーツ クラブ室内コートで親睦テニス会が開催される予定です。詳細は1月14日頃ご案内しますのでご期待ください。

#### 編 集 後 記

▽ 女子連の選手たちに闘志を失われては来年の定期戦が? と余計な心配をして申し訳ありませんでした。武田理事長さんはじめ、意気壮なご寄稿をありがとうございました。

▽ いわきベテランクラブとの親善試合、いわきの然るべき方にも一筆お願いしようかと思いましたが、対いわき戦を定期化しようとの策謀? と誤解される恐れもあるとかで見合わせました。しかし、二人のレポートで充分でした。結果OK。

▽ 今年メインイベントの大会で優勝した方々に感想でも何でもよいからと寄稿をお願いしました。お忙しい時に突然ご迷惑をかけ申し訳ありません。考えてみますと、一方で、原稿をお願いしなかった沢山の会員には、決して無視したつもりは更々なくても、結果的にこういう会報が出来上がってみると、これまた申し訳ない気持ちです。

▽ 連盟発足以来2年、原稿を無理にお願いして発行した会報も4号を数えることになりましたが、この辺で反省も…… 連盟結成の発起人会で、会報を必要と考える人に近い数の人が' どうでもよい ' とお答えになったことを思い出します。' どうでもよかった ' 人が ' やはり必要だ ' と考え直して下さる会報を……と願う次第です。 (HK生)